

2019年度・東広島市民講座報告

「東広島を楽しくスケッチしよう（志和町編）」作品展

難波平人

市民講座「東広島を楽しくスケッチしよう（志和町編）」（講師：難波平人）を昨年9月3日（火）より4回にわたり開催し、受講生39名は志和町の時報塔のあたりと民家と山を各自2点画きました。

その成果の発表展として、広島大学マスタースズ主催で令和2年1月15日（水）～20日（月）：「くらら」（市民ギャラリー）で開催し、水彩、アクリル、油絵など計39点の力作を展示しました。

初日の開会式では東広島市教育長の津森 毅先生、広島大学マスタースズ代表幹事の渡部 和彦先生、東広島市観光協会専務理事の上向 隆様にご挨拶を戴きました。

また、東広島カモンケーブルテレビが「描いてみよう絵画入門」と題して難波が制作する様子を収録・放映した録画を展示会場で放映したところ、「製作の要領や技法が参考になった」と好評でした。

それに受講生からは「志和町の豊かな自然を描くことで、その魅力を知ることができた」と喜びの声を聞くことができました。

なお、「作品展」への入場者は758名でした。



作品展会場